

## 令和3年度シラバス（情報）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	社会と情報	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	新・見てわかる社会と情報（日本文教出版）			授業形態	必修
副教材等	プリント、全商検定過去問題ほか				

### 1 学習目標（科目のねらい）

情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度に基づき、情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を理解させ、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータを効果的に活用する能力を養うとともに、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。

### 2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	第1章 1 情報を活用しよう 2 情報モラルを身につけよう 実技課題 ビジネス文書実務検定	8h	9	第4章 1 情報化が社会に及ぼす影響と課題 2 情報セキュリティの確保 実技課題 エクセル実習	8h
5	第2章 1 コンピュータを使ってみよう 筆記テスト 実技テスト「速度テスト」		10	情報処理検定の学習	13h
6	2 データを分析してみよう 第3章 情報をわかりやすく伝えよう 実技課題 パワーポイント プレゼンテーション実習 筆記テスト	16h	11	筆記テスト 実技テスト 「エクセル」 ビジネス文書実務検定（希望者）	
7	実技テスト「プレゼンテーション」	8h	12	第5章 1 情報通信ネットワークとコミュニケーション 2 情報のデジタル化	6h
8			1	実技課題 情報処理検定の学習 情報処理検定（希望者）	
			2	筆記テスト	5h
			3	3 情報通信ネットワークのしくみ (計64時間 55分授業)	

### 3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報化社会に関心を持ち、表現やコミュニケーションにおいて情報技術が活用できる。	情報を適切に取捨選択し、処理することができる。	情報の収集・選択・処理を適切に行い、TPOに適した表現ができる。	基本的な情報技術が身に付いている。情報社会における情報活用の意義や役割を理解している。

以上の観点を踏まえ、授業態度・出席状況・定期考査から総合的に評価します。

### 4 担当者から一言

情報社会に参加するための情報活用能力・態度・マナーを身につけます。また、完璧なタッチメソッドを目標にしながら、実際の会社で実際に使えるエクセルを学習します。